



よつば便り

平成 24 年 01 月
よつばの会発行
NO. 7

「岡山市発達障害者支援センター」発行

今月二十二日にふれあいセンターにて、岡山市発達障害者支援センター発足事業が開催されます。よつばの会でもパネルを展示させて頂きます。



よつばの会を多くの方を知って頂く機会と思いいパネルの作成に当たりました。

「サポーター報告」

PAPASS (美容院 京山地域) で活動するAさんの報告です。

美容院でのふれジョブですから、非常に緊張しました。しかし彼女の成長振りは、想像以上で驚きました。職場に着くなり、目に付く作業を手際よくこなし、スタッフの人が来訪に気が付くと、気持ちの良い挨拶。

「今日はお世話になります。」

「そうか！今日は来てくれたんだね。」と会話が交わされる。双方心通ったコ

ミュニケーション！また職場の業務場面にスタッフの補助員として参加し、スタッフやお客様への笑顔での対応は、彼女にとって一番の緊張場面を、難なくこなす所は驚きでした。彼女のふれジョブ活動の素晴らしさを時下に見る事が出来、貴重な体験でした。

(サポーター 松井)



同じくAさんの報告です。お客さんが大勢居られて、お店のスタッフの方も忙しい中を、色々と仕事の指示をして下さり、彼女はそれをテキパキこなしていました。まるで花嫁修業をして

いるようでした。

(サポーター 岡田)

次は 中央図書館で活動するY君の報告です。

児童書コーナーでシリーズ物、分類番号で並べ直しています。同じ作業の繰り返しですが、一時間静かに集中して行っています。

本の扱いも丁寧になり、図書館でふれジョブする自覚が育っているようです。

事務所に入室する際の「失礼します」の挨拶も上手になつてきました。

小学校卒業までの三カ月がますます楽しみです。

(サポーター 森石)

「新会員さんのご挨拶」

はじめまして！今年からよつばの会の活動に参加することになりました。

高校生の息子は、人との円滑なコミュニケーションやお付き合いが得意ではありません。

ません。一歩踏み出して、家族以外の人たちと触れ合い、色々な経験を積み重ねて、内面的に精神的に成長出来る機会を、親としても探していました。発達障害の子供たちは個々によつて、特性・個性が違いますから、マニュアル化した対応では不安でした。よつばの会に数回参加させて頂いて、岡山の地元のサポーターの皆さん、活動中の子供たちの様子を拝見し、息子がこの岡山の地で、ゆつくりと少しずつ自信をつけて成長して行けるチャンスがあるかな？と感じています。前回(昨年十二月) 息子が初参加した時も、緊張の中で自己紹介や趣味の事をお話することが出来ました。真面目で一生懸命にやる息子ですが、焦らず、慌てず、諦めず、見守って行きたいと思っています。(M)